

乳幼児の転落・転倒 事故防止ガイド

ヒヤリ・ハットレポート No.11



東京都では、乳幼児の転落・転倒に関するヒヤリ・ハット体験や危害の経験を掘り起こすためにインターネットアンケート調査を行いました。

このガイドは、調査結果に基づき、乳幼児の転落・転倒を防止するためのポイントをまとめたものです。

インターネットアンケート調査概要

◆乳幼児の転落・転倒による危険

○調査対象／東京都に居住する0～6歳(未就学児)の子供を持つ20歳以上の男女(3,000人)

○調査時期／平成26年1月～2月



東京都

乳幼児※の身の回りには、転落・転倒の危険がいっぱい!

※ このガイドにおける「乳幼児」とは、0歳から6歳までの子供をいいます。

家の中でヒヤリ!

椅子※ (1,242件)

※乳幼児用でない椅子



フローリング (977件)

- 出掛けるときに靴下をはかせたら、子供が走り出し、リビングで滑って転倒した。

家の外でヒヤリ!

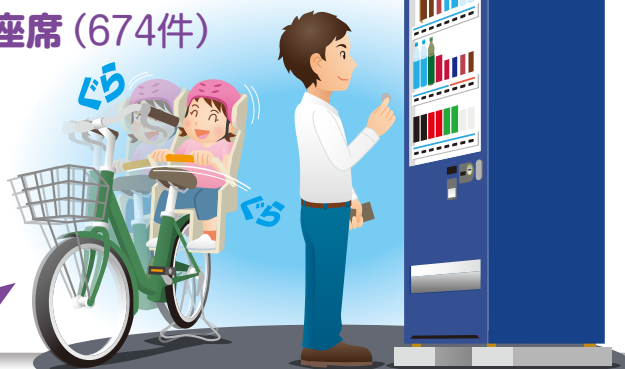
ベビーカー (785件)

- ハンドルに荷物をかけすぎてベビーカーが転倒し、安全ベルトをしていなかった子供が投げ出された。



自転車の幼児用座席 (674件)

- 自販機でジュースを買うため、自転車から少し離れたところ、子供が動いてバランスを崩し、自転車ごと倒れた。



～3,000人の保護者に調査～ ヒヤリ・ハットや危害の事例は2万件超!!

※「ヒヤリ・ハット」～ケガはしないが転落・転倒した、しそうなった。「危害」～転落・転倒をしてケガをした。

階段 (825件)

- 母親を追いかけて階段を上り、5段目から落ちた。

きゃー!!

1～2歳
注意

浴槽 (870件)

- 親が洗髪していたとき、深さ10cm程度の湯船に子供を入れていたら、足を滑らせて溺れかけた。

はっ!!

1～2歳
注意

つるっ!

ソファ (1,247件)

- 寝返りできないが、足を伸ばしたり縮めたりしているうちに、身体がソファからはみ出して落ちた。

0歳注意

ベッド※ (793件)

※乳幼児用、2段以外のベッド

- 親子で川の字になって寝ていたら、子供が寝ながら動き回り、足元から落ちた。

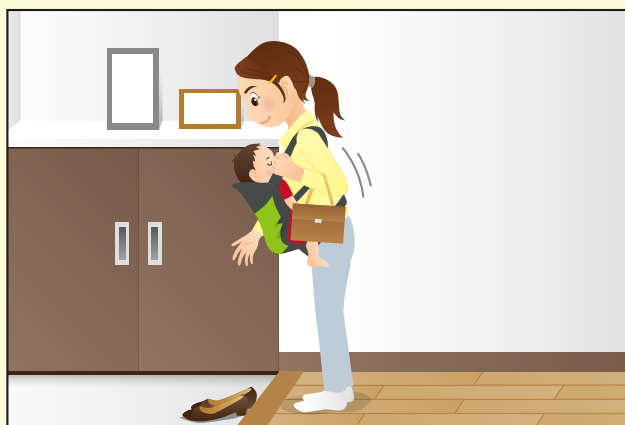
1～2歳
注意

zzz...

あっ、危ない!! ～家の中でのヒヤリ事例～

<抱っこひも>

子供を抱っこしたまま、靴を履こうと前かがみになったとき、子供が滑り落ちそうになった。



- 子供が滑り落ちる危険があるため、抱っこひもの使用中に、大きく前かがみになる動作をしないでください。

<ベランダ>

登ることが好きで、ベランダの室外機の上に登ってベランダの柵につきまわり、ぴょんぴょん飛び跳ねていた。



- ベランダに一人で出られないよう、子供の手の届かない位置に補助錠をつけましょう。
- ベランダに踏み台になるものを置かないようにしましょう。

外で遊んでいても… ～遊具での転落・転倒の危険～

<ペダルなし二輪遊具>

ペダルなし二輪遊具に乗って、公園の小山から走り降りてくるときに、スピードが出すぎて転んだ。



※ペダルなし二輪遊具は、坂道で遊ばないようにしましょう。また、公道で使うことができません。

<ブランコ>

ブランコに乗っているときに、娘が手を放してしまい、ブランコから落ちた。



- 子供に安全な遊具の使い方を教えましょう。
- 危険な使い方をしないよう、行動をよく観察し、子供から目を離さないでください。

乳幼児の転落・転倒防止のポイント ～ ちょっとした気配りが事故を防ぎます ～

0歳

親の転倒に注意

(事例) 子供を抱っこして階段を降りていたら、足が滑って親子で転落した。



- ・ 滑りやすいスリッパ等は避ける。
- ・ 階段に滑り止めを付ける。
- ・ 衝撃が少ない床素材にする。



寝返り、身体の動きに注意

(事例) 乳児用ベッドに寝かせて少し目を離した隙に、寝返りをして落ちた。



- ・ ベビーベッドに寝かせるときは、必ず柵を上げる。
- ・ ソファなど、転落しやすい高いところに寝かせない。

ハイハイ、よちよち歩きをはじめたら…

(事例) ハイハイで進み、靴を取ろうと身を乗り出して玄関に落下した。

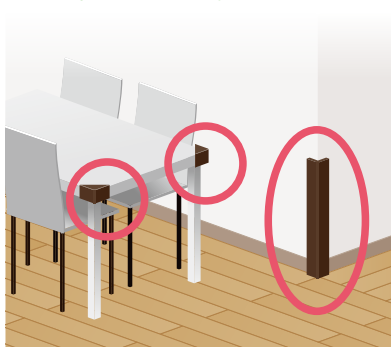


- ・ 玄関や階段に行けないよう移動防止柵をつけ、閉め忘れのないようにする。
- ・ 滑って転落しないよう、マット類を置かない。



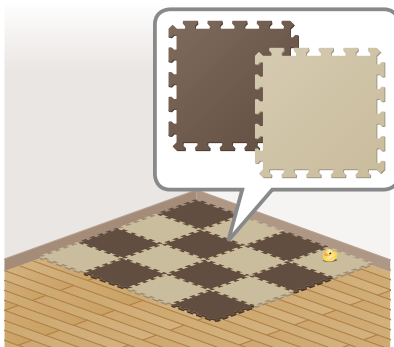
転んだときのケガを防ぐために

☆なるべく丸みのある家具類を選び、角には保護材などを取りつける。



コーナーガード

☆遊ぶところは、クッション性の高い材質にする。



クッション性の高い床材

こんな製品があります!

☆口に入れたときにのどを突かない歯ブラシを選ぶ。



のど突き防止歯ブラシ

1～2歳

行動範囲が拡大し、好奇心も向上

(事例) 歯ブラシをくわえたまま、ベッドでお兄ちゃんとふざけていたら転んだ。



- ・ 歯ブラシやフォーク等を持ったまま歩かせない。



(事例) 歩き始めの頃、勝手に降りて行こうとして、階段の一番上から転がり落ちた。



- ・ 階段の上り下りは転んでも支えられるように、大人が子供の下側を歩くか、手をつなぐ。
- ・ 階段に移動防止柵をつけ、閉め忘れのないようにする。



(事例) 窓をのぞこうとして浴槽のふたに乗り、浴槽に転落した。



- ・ 浴槽にお湯を残さない。
- ・ 浴槽のふたは、たわみにくいしっかりしたものを選ぶ。

(事例) 自転車で幼児用座席の安全ベルトがうまく装着されておらず、すり抜けてしまい、走行中に息子が立ち上がろうとした。



- ・ 子供に必ずヘルメット、シートベルトを着け、装着状態を確認する。

3歳以上

行動が活発になりだしたら…

(事例) 息子が押入れに入って遊んでいたとき、飛び降りて転んだ。



- ・ 家の中の危ないところや危険な行動を、子供に教える。



(事例) 息子がふざけていて、ぬれた床で滑り、浴槽に頭をぶつけた。



- ・ 浴室に滑り止めマットを敷くなどして、床やタイルを滑りにくくする。

(事例) エスカレーターを走って降りて転倒し、手が巻き込み口に挟まれそうになった。



- ・ エスカレーター利用時は子供をステップの中央に乗せ、手をつなぐ。
- ・ 子供を歩かせない、走らせない。
- ・ サンドルなどは、段差に巻き込まれやすいので注意する。



家庭でできる応急手当 頭を打ったら!



- 傷口から出血しているときの手当では、ガーゼで傷口が閉じるように圧迫し、安静にして様子を見ましょう。
- 意識がない、吐く、けいれんしているなどの場合には、すぐに救急車を呼び、吐物による窒息を防ぐために顔を横に向けて、体を動かさないようにします。
- もし、呼吸がない場合には、気道を確保して人工呼吸をしましょう。
- また、いつまでも不機嫌な状態が続くようなときは、病院に行きましょう。
- 頭を打った場合には、遅れて症状が出る場合がありますので、安静にして1日~2日は注意深く観察しましょう。

(出典:国立保健医療科学院 子どもの事故防止支援サイト)

東京都消費生活 総合センター

事故にあったとき、商品サービスに原因があると思われる場合には、消費生活センター等の機関に申し出ましょう。

消費生活相談
03-3235-1155

東京消防庁救急相談センター

急な病気やケガをした場合に、「今すぐ病院へ行くべきか?」、「救急車を呼ぶべきか?」など迷ったときは「東京消防庁救急相談センター」へ相談しましょう。

#7119(プッシュ回線・携帯電話・PHS)
ダイヤル回線電話やつながらない地域からは
23区:03-3212-2323
多摩地区:042-521-2323

調査結果の詳細や危害危険情報:「**東京くらしWEB**」
<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>

Twitter:「**東京都消費生活行政**」
https://twitter.com/tocho_shouhi

Facebook:「**東京都消費生活**」
<https://www.facebook.com/tocho.shouhi>



事故防止ガイド

「幼児の身の回り」「乳幼児の誤飲」「乳幼児のやけど」事故防止ガイドも配布中です。WEBでもご覧になれます。

※詳しくはお問い合わせください。

